



2017年1月23日

各位

株式会社 I H I
東京都江東区豊洲三丁目1番1号
代表取締役社長 満岡 次郎
(コード番号 7013)
問合せ先 取締役常務執行役員 望月 幹夫
財務部長
TEL 03 - 6204 - 7065

関係会社株式評価損（個別決算）及び債務保証損失引当金繰入額 の計上に関するお知らせ

当社は、2017年3月期第3四半期の決算において、下記のとおり、海外連結子会社に係る関係会社株式評価損155億円（個別決算）、及び、国内関連会社に係る債務保証損失引当金繰入額110億円を特別損失として計上することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 海外連結子会社に係る関係会社株式評価損（個別決算）の内容

当第3四半期の連結決算において、当社グループが北米で遂行中の大型プロジェクトの工事原価見通しが当初の見積りに比べて増加し、採算性が悪化することが判明しました。

この結果、当社の子会社（米州統括会社）である IHI INC.の純資産が毀損し、保有する IHI INC.株式の実質価額が帳簿価額から著しく下落したため、株式価値の回復可能性を検討してまいりましたが、当面の回復は難しいと評価し、当社の個別決算において関係会社株式評価損155億円を特別損失として計上することとしました。

なお、この関係会社株式評価損は、当該子会社が連結子会社であるため、連結財務諸表上は消去されます。

2. 国内関連会社に係る債務保証損失引当金繰入額の内容

本年1月11日公表の「インフルエンザワクチン原薬製造事業に関するお知らせ」にてお知らせしたとおり、当社は、株式会社 UMN ファーマ（以下、「UMN ファーマ」という。）と共同で設立した株式会社 UNIGEN（UMN ファーマの連結子会社）の製造設備資金及び運転資金に係る債務の一部を保証しており、保証債務の残高は2016年12月末時点で110億円となっております。

本年1月10日にアステラス製薬株式会社及びUMNファーマから公表された、組換えインフルエンザHAワクチンの製造販売承認申請取り下げを受けて、当該保証債務の履行可能性及び回収可能性を評価した結果、損失の発生の可能性が高まったものと判断し、保証債務額の全額である110億円を債務保証損失引当金へ繰り入れ、特別損失として計上することとしました。

3. 連結業績への影響

2017年3月期通期の連結業績見通しは、上記1.の北米で遂行中の大型プロジェクトの採算性の悪化、及び上記2.の債務保証損失引当金繰入額について、当第3四半期の連結決算へ織り込むこととなりますが、航空エンジン事業等の改善や保有資産の売却を見込んでいるため、2016年10月24日公表の連結業績予想から変更ございません。

以上